

# だんだん

放送大学島根学習センター  
141号



2023年10月発行

〒690-0061

松江市白潟本町43 スティックビル4階

☎0852-28-5500 fax0852-28-1800

✉shimane-sc@ouj.ac.jp



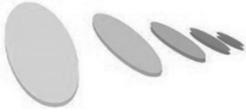
◆客員教員紹介	2
◆客員教員の「談・談」	3
◆行事の報告	4~8
◆行事の案内	8~12
◆お知らせ	13~17
◆島根同窓会通信	17
◆スケジュール(11・12月)	18



# 客員教員紹介

①現職等 ②専門分野（五十音順）

	<p><b>荒川 正晴先生</b></p> <p>① 大阪大学 名譽教授</p> <p>② 東洋史学</p>	<p>客員教員として島根学習センターに勤務し、4年目になります。私の専門は歴史学で、トウルファンや敦煌と呼ばれるシルクロード上のオアシスから出土した古文書史料を用いて、主に中央アジアと中国の古代史を研究してきました。またシルクロードの交易や東西の文化交流の問題とも取り組んでいます。みなさんが高校で習われた世界史は、おそらく無味乾燥な各国史の寄せ集めだったかと思いますが、それを国家単位ではなくザックリとユーラシア大陸サイズあるいはグローバルレベルで眺めてみましょう。世界の見え方がまったく違って来るはずですよ。これから、みなさんの学びのお手伝いができることを楽しみにしています。どうぞ今学期もよろしくお祈りします。</p>
	<p><b>安齋 有紀先生</b></p> <p>① 島根大学 准教授</p> <p>② フランス語学</p>	<p>私たちが日常的に行なっている「対話」という言語活動に関心を持ち、フランス語と日本語を対照しながら、音声によるコミュニケーションに観察される様々な言語現象に着目した「話し言葉」の研究をしています。本務校の島根大学では、フランス語・文化関連の授業を中心に行なっていますが、言語文化圏によってなぜ「ことば」の使い方が異なるのか、複数の言語を対照することでそれぞれの言語の特徴がどのように見えてくるのかなど、「ことば」に関する素朴な疑問について学生とともに考えながら、対照言語学の面白さを伝えようと日々取り組んでいます。島根学習センターでは、フランスの文化や言語の魅力をお伝えしていきたいと思っております。</p>
	<p><b>大谷みどり先生</b></p> <p>① 島根大学 特任教授</p> <p>② 異文化コミュニケーション、英語学習における支援</p>	<p>皆さん、こんにちは。4月より放送大学で客員教員としてお世話になっております。私は色々な仕事を経て、いま大学という場で仕事をしています。関心は、異なった文化的背景を持つ人々の間で、どのようにすれば、よりよいコミュニケーションが出来るか、言葉以外に、何が相互理解の壁になりうるのかという「異文化コミュニケーション」と呼ばれる分野と、英語を学ぶ上で、各人が持つ特性がどのように影響するのか、特性をどのように活かせるのか、という点を、支援という側面から考えていく「英語学習支援」の分野です。この二つの領域について、実は個々人が持つ文化的背景や特性が、コミュニケーションや学習に、どのように影響を及ぼすかという点で共通項があります。このような領域に関心のある皆さんと一緒に学べることを楽しみにしています。</p>
	<p><b>尾崎 浩一先生</b></p> <p>① 島根大学 名譽教授</p> <p>② 生物学・分子生物学</p>	<p>客員教員として4年目になります。研究の専門分野は主に動物の感覚、とりわけ光感覚（視覚）です。材料としてイカや昆虫の眼を用い、私たちが生涯ものを見続けることができるためのメカニズムを中心に研究を続けてきました。「だんだんセミナー」では、これらの専門分野だけでなく広く生物の不思議について、主に生理学や行動学、分子生物学的な立場から皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。環境、加齢、感染症など生物学や医学が関わる問題はますます重要になりつつあります。こうした問題に対処するためには、一人ひとりが生物学の正確な基礎知識や情報を取得し、それに基づいて自ら考えなければなりません。本セミナーが、その一助になれば幸いです。よろしくお祈り致します。</p>
	<p><b>高須 晃先生</b></p> <p>① 島根大学 名譽教授</p> <p>② 地質学・岩石学</p>	<p>地球の表層を覆う地層や岩石には様々なものがありますが、これらの大部分は地球が誕生した46億年前から現在までにおこった地殻変動やマグマ活動の結果として形成されたものです。私はこれまで、かつての大陸と大陸の衝突（5000万年前の大陸衝突によりヒマラヤ山脈が形成されました）や海洋プレートの沈み込み（これにより巨大地震が発生します）にともなう地球大変動の痕跡を残す岩石の研究を行ってきました。放送大学では、地球表層部を構成する地層、岩石と鉱物について、できるだけわかりやすく解説できればと思っております。どうぞよろしくお祈り致します。</p>
	<p><b>村瀬 俊樹先生</b></p> <p>① 島根大学 教授</p> <p>② 心理学</p>	<p>今年度から客員教員を務めます。本務は、島根大学人間科学部で心理学を担当しています。これまで、母語としての日本語を獲得する過程を中心に研究を行ってきました。0～1歳代にかけて、どのような力が育つことが言葉の獲得をささえているのか、養育者のことばかけにはどのような特徴があり、それを子どもはどのように処理してことばを獲得するのかという研究を行っています。ことばの獲得に関する日米比較研究に参加する中で、日本文化の中で形作られる心にも関心を持つようになりました。「空気を読む」と言われるように、他者の心を推測して自分の行動を調節する傾向が日本社会の中でどのように形成されているのかという研究にも取り組んでいます。</p>



## 「風車」

客員教授 尾崎 浩一

この夏の初めに、松江近郊の低山を一つずつ登ろうと思い立った。最初に選んだのは、雲南市と安来市の境にある大出日山（おおしびさん）だ。麓にある川原神社側の駐車場に車を置き、標高 601.3m の頂上目指してゆっくりと登る。梅雨の晴れ間の暑い日だったが、登山道はほぼ木陰となっていて風が通り、心地よく歩を進めることができた。特に水が豊富で、沢の流れや湧き水が疲れを癒してくれる。虫や鳥、そして蛙や蛇などもたくさん棲んでいて、本当に豊かな山であることを実感した。

ところが今、この山に風力発電のための風車建設が計画されている。大型の風車を大出日山に最大 13 基、更には安来市の日向山（ひなやま）にも 11 基建設する計画だ。核兵器の材料であるプルトニウムの生産へと繋がる原子力発電を廃止し、再生可能エネルギーを用いた発電にシフトすること自体は重要だと思う。しかし、種々の生き物を育み、清浄な水を生み出す山を取り壊して施設を建設し、また、その使用後に壊された自然を回復できる見込みもないまま計画を進めてよいとは思えない。そこには核ゴミの廃棄や耐用年数経過後の廃炉について真面目に考えず進められてきた原発建設と同じ思考が継承されている。環境への影響の調査が、数年くらいでまともにもできるとも思えない。

自然は自己再生する能力を備えている。小さな破壊であれば長い時間をかけずとも、元の豊かさを取り戻すことができるだろう。しかし大規模施設の建設による爪痕は、回復不可能な可能性が高い。大規模発電は生産効率こそ高いかもしれない。だが、自然との共存を考えると、エネルギー生産においても小規模で地産地消的な思考が必要ではないだろうか。



## 久しぶりにフランスへ

客員准教授 安齋 有紀

2020 年 3 月中旬、約 5 年間学んだパリ第 3 大学で研究発表をするために、1 週間ほどフランスに滞在する予定であった。しかし、3 月初旬あたりから雲行きが怪しくなり、悩んだ末に渡仏を断念。その直後、マクロン大統領が緊急事態宣言を出し、パリの街もロックダウン、国境封鎖…と、瞬く間に世界中が深刻な状況となった。あれから 3 年、今年の 11 月末に国際シンポジウムに出席するため、フランス北東部にあるロレーヌ大学に行くことになった。6 年ぶりの渡仏で、飛行機のチケットを予約したり、ホテルを探したりと、もちろん目的は仕事であるが、「外国に行く」という久しぶりの行為に胸が高まっている。丁度昨年秋、同じ研究グループの企画によるシンポジウムが東京で開催され、2020 年からずっとオンラインで画面越しに対話をしてきたフランスの研究者十数名と対面で会うことができた。互いに抱き合って「再会」の喜びを分かち合い、自然と涙が溢れてきた。コロナ禍を通して、私たちはオンライン会議・授業など、リモート環境でコミュニケーションをとる方法を覚え、特に海外とのやり取りは時差の問題を除けば驚くほど簡単になった。一方で、元気な姿で会いたい人に会えるということがどれほど貴重で幸せなことか、国内外の移動が概ね元に戻って以来、一際身にしみて感じるようになった。

さて、来年はパリでオリンピックが開催される。実は、2017 年に出張でパリを訪れたとき、すでにオリンピックに向けた工事が道路や公共交通機関を中心に始まっていた。当時は、オリンピックを 3 年後に控えていた東京もあちこち工事中で、本当に 2020 年までに終わるのだろうかかと帰省する度に心配していたが…まさかそれどころではない出来事が世界で起こるとは、誰が想像しただろうか。無事にパリ五輪が開催されることを願うばかりである。

## ◆ 学位記授与式 ◆

令和5年度第1学期の学位記授与式を9月24日（日）スティックビル5階交流ホールにて、感染防止対策を講じたうえで開催しました。

学位記授与式には6名の卒業生が出席されました。所長挨拶に続き、来賓の島根同窓会の竹下会長からご祝辞をいただきました。

卒業生を代表して浜田市の釜井由美子さんが感謝のことは述べられ、厳粛な中にも華やかに式典が終了しました。その後、同じ会場で同窓会主催の卒業を祝う会が開催され、卒業生からの感想や同窓会員からのねぎらいの言葉など、なごやかな雰囲気での懇談が行われました。



### 卒業生紹介

卒業生氏名等の掲載を了解された方々を五十音順に紹介します。（敬称略）

伊瀬 孝子 【情報コース】  
玉木 理絵 【心理と教育コース】  
長島 博 【人間と文化コース】  
橋本 淑子 【社会と産業コース】

岡本 克己 【生活と福祉コース】  
友田 里佳 【心理と教育コース】  
橋本 典尚 【社会と産業コース】





## 所 長 式 辞

島根学習センター所長 出 口 顕

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、過去最高の高温の長い夏が続き、もはや四季の存在を誰もが信じなくなっている今日、放送大学島根学習センター令和5年度第1学期の「学位記授与式」を、ご来賓の島根学習センター同窓会会長 竹下靖彦さま、客員教員の先生ご列席のもと執り行うことができました。卒業生の皆さま、本日は誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆さまには卒業生の門出の会にご臨席賜りありがとうございます。

今学期卒業される学士16名の皆さまは、面接授業の中止や単位認定試験の実施形態の変更など、新型コロナウイルス感染症に翻弄される生活の中で、困難を乗り越え無事卒業を果たされた方たちであり、その努力と熱意に改めて敬意を表したいと思います。

新型コロナウイルスも5類に移行したとはいえ、まだまだ予断を許しません。そのような中で皆さんはこれからも学びを継続されることと思います。とはいえ学ぶとは何か、生成 AI、Chat GPT の功罪が議論される中、ここで改めて考えてみたいと思います。

知らなかった世界について知識を得ることができ喜びが学びであります。学んで得られた知識は活用しなければ、身についたものにはなりません。毎日 CNN の英語ニュースを聞いて英語のヒアリングを上達させたとしても、毎日の生活のなかで自分で話すという機会がないと、外国人と対面したいざという場面でも英語がでてこないということはよくあるからです。ですから皆さんも放送大学で学んだ知識を活用する機会を積極的に求めていただければと思います。

その際、皆さんには「研究する」という心構えを忘れないようにしていただきたいと思います。大学とは本来教員だけでなく学生も研究に携わる機関です。残念ながら今日日本の大学ではこのことがともすれば見失われがちです。では研究するとはどういうことか。学ぶとはどう違うのか。教科書などを通じて基礎的な知識を受動的に獲得するのが「学ぶ」であるなら、「学ぶ」を踏まえて、自分自身及び周囲の世界を見渡したとき、何が問題になっ

ているだろうかという問いかけを発し、先行研究をリサーチしながらその問いに答えるためにはどうすればよいかを考え、必要なデータを自らで収集し分析していくこと、これが研究するということです。簡単に答えは出ないかも知れませんが、答えを目指して問い続けるといういわば能動的な姿勢が研究するということです。放送大学を卒業するにせよ再入学するにせよ、これまで学んだ知識が受け身的なものであったのなら、今度はそれを能動的積極的に活用して問い続けることを実践していただければと思います。その際安直に生成 AI に頼らず、仮に文献リサーチで生成 AI を使ったにしても、客員教員の高須晃先生が機関誌「だんだん」で述べていらっしゃるように、AI はねつ造します。ですから得られた検索結果が本当に正しいか自ら検証することを忘れないでください。

最初に述べましたようにコロナが5類に移行したとはいえ、終息したわけではなく、増加傾向にあり予断を許しません。ロシアのウクライナ侵攻も泥沼状態が続いています。異常気象が続き今夏は過去最高気温を記録し、あちこちで線状降水帯による豪雨や大規模な森林火災が発生し続けています。意気阻喪させるような事ばかりですが、私たちの子や孫の世代が安心して幸福に生きていける環境を彼らに残すためにも、今こそ知恵を振り絞らなければなりません。そのためには批判的精神を発揮して研究する事が求められますが、その基礎を皆さんは放送大学で「学ぶ」ことによって築かれています。ひるむことなく果敢にチャレンジし続けていってください。

本日、学位記を受けられた皆さまにはこの期待をお伝えして私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。



## 卒業生代表あいさつ

教養学部教養学科 生活と福祉コース  
釜井 由美子

朝夕涼しくなり、残暑もようやくおさまりさわやかな風を感じる季節となりました。

今日は、私たち卒業生のために「学位記授与式」を開催していただき、誠にありがとうございます。

また、これまでご指導・ご鞭撻いただきました諸先生方をはじめ、学習センターの皆様、多くの方々を支えていただき、深く感謝いたします。また、同じタイミングで卒業される皆様とお会いでき嬉しく思います。

さて、私ごとになりますが、10数年前に高校を卒業し、社会人として働く中で、もう一つの夢を叶えるために、大学の資格取得を目標に入学しました。仕事になれた頃ではありましたが、介護の仕事と学業の両立は、思っていた以上に大変なことが多く、10年という期間の中で124単位を本当に私はとることができるのだろうかと不安がありました。自分のペースで学習できること、そして、自分が学びたい学習を選べることは、勉強が苦手な私にとっては、よかったと感じています。また、大学での学習は、高校時代に学んで居た内容もありましたが、それ以上に知らないこ

とを新しく知れたことは、私のスキルアップに繋がり、私の人生にとってとても良い経験となりました。これからも自分の夢を叶え実現するために勉強し続けて行きたいと思います。

最後になりましたがご臨席の皆様、在学生の皆様のご健勝と放送大学そして島根県学習センターの益々のご発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

今日は誠にありがとうございました。



## 卒業生からの言葉

出欠に併せて、「卒業にあたっての感想」を記入していただいた方々を到着順で紹介します。

### ○伊瀬 孝子さん

2017年10月入学で、この度2度目の学位記授与を受けることが出来ました。そして10月から3コース目の入学です。学びを通して「なりたい自分をデザインする」ライフワークを続けていきたいと思っています。

### ○玉木 理絵さん

末子の誕生後まもなく入学し、子育てと仕事に追われつつも楽しく学ぶことができました。卒業を目標に入学した私がさらに学びを深めたいと思うようになったことは学びの時間が充実していた証なのだと感じています。応援してくれた家族に感謝し、次の目標に向かって進みます。

## ○橋本 典尚さん

卒業まで9年かかりました。入学したときは、ひとりで勉強していたが、家族ができて時間がとれない時期もあり苦労しました。それでも学べる楽しみを感じられる有意義な時間でした。支えてくれた人たちに感謝しかありません。本当にありがとうございました。

## ○橋本 淑子さん

2回目の卒業です。放送大学で学んだこと、感動したこと全てが私の宝です。これから少し休みますが、また戻りたいと思います。支えてくださった皆様ありがとうございました。

## ○長島 博さん

全く別の分野への挑戦、(たとえば)「はじめての数学」とか「はじめての気象学」により、頭が硬かったのが、柔らかくなったような気がします。

## ○友田 里佳さん

仕事と家庭と学業と忙しく過ぎていく日々の中、放送大学での学びや出逢いは私の今の底力となっています。これからも少しずつですが自分の出来るところから頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

## ◆ 入 学 者 の 集 い ◆

9月24日(日)、令和5年度第2学期の「入学者の集い」と「入学者ガイダンス(学友会との共催)」を行い、新入生6名の出席がありました。「入学者の集い」には、来賓の島根県教育委員会の土江社会教育課長からのご挨拶と、荒川客員教授から激励の言葉をいただきました。入学者ガイダンス、オリエンテーション(学習の進め方等の説明)の後、学友会の藤嶋会長からのアドバイスや、先輩の体験談などを聞き、新入生はリラックスしながら、熱心にメモを取る姿もありました。

新入生の皆様には、今後の大学生活が有意義なものになりますよう、職員一同支援致します。



## ◆ 公開講演会 ◆

8月、10月に公開講演会を開催しました。



### 「色々な英語の学び方～個性・特性にあった学び方の工夫～」

島根学習センター客員教授・島根大学特任教授

大谷 みどり 氏

- ・日 時 8月5日(土) 10:00～11:30
- ・会 場 出雲市役所くにびき大ホール
- ・参加者 26名



### 「イカは何を見ているのか」

島根学習センター客員教授・島根大学名誉教授

尾崎 浩一 氏

- ・日 時 10月7日(土) 14:30～16:00
- ・会 場 西ノ島町立中央公民館
- ・参加者 17名



## 行事の案内

### 2024年4月入学に向けた「入学説明会・相談会」

2024年4月入学の出願受付期間は11/26～3/12の予定です。  
入学説明会・相談会のうち、12月、1月の予定は次のとおりです。

- |       |                     |               |
|-------|---------------------|---------------|
| ○松江会場 | 12月23日(土) 10時～、14時～ | 島根学習センター      |
| ○出雲会場 | 1月7日(日) 13時～        | 出雲中央図書館       |
| ○益田会場 | 1月27日(土) 14時～       | 益田市立図書館       |
| ○浜田会場 | 1月28日(日) 10時～       | 県西部社会教育研修センター |

### 学生研修旅行のお知らせ

日 時：2023年11月12日(日) 9:00～17:30(予定)

旅行先：雲南市吉田町「菅谷たたら山内」

奥出雲町横田「糸原記念館」「奥出雲たたらと刀剣館」

参加費：昼食代2,000円(消費込み)

※詳しくは別添チラシをご覧ください。

## ◆島根大学及び島根県立大学との双方向「単位互換制度」説明会◆

単位互換制度とは、大学間で単位互換協定を締結し、他の大学等で修得した単位を所属する大学の修得した単位として認定する制度です。

島根学習センターでは、島根大学、島根県立大学と双方向「単位互換協定」を締結しています。

### 1. 出願資格

単位互換校の授業科目を履修できるのは、次の3つの要件をすべて満たしている方です。

- (1) 出願時及び履修時に全科履修生である者（選科履修生及び科目履修生は出願できません。）
  - (2) 出願時に本学の在学年数が通算1年以上の者
  - (3) 出願時に放送授業科目において30単位以上を修得している者
- ※ 単位互換校へ通学可能な学生を募集対象とします。

### 2. 履修できる授業科目

	島根大学	島根県立大学
受講可能科目	原則として、医学部を除く島根大学の全ての授業科目が受講可能です。	島根県立大学から、学期毎に受講可能な学部・科目が提示されます。
受講料	1単位当たり 5,500円 (1科目2単位：11,000円)	1単位当たり 14,800円 (1科目2単位：29,600円)
単位互換校の所在地	【松江キャンパス】 松江市西川津町1060番地 法文学部 教育学部 人間科学部 総合理工学部 材料エネルギー学部 生物資源科学部	【浜田キャンパス】 浜田市野原町2433-2 国際関係学部 地域政策学部 ※ これまでのところ、上記学部以外で受講可能な学部・学科は提示されていません。

### 3. 出願から単位修得までのスケジュール

事項	日程		備考
	第1学期	第2学期	
出願書類の提出期限	1月下旬	7月下旬	相談・出願書類提出窓口： 島根学習センター
特別聴講学生受入決定の通知	3月中旬以降	9月中旬以降	単位互換校から出願者へ通知
講義の履修	4月～9月	10月～翌年3月	場所：単位互換校
単位認定試験の受験	履修科目の担当教員の指示を受けてください。		場所：単位互換校
成績通知	9月中旬	翌年3月中旬	単位互換校から本人に通知
単位の認定	10月中旬	翌年4月中旬	単位互換校で修得した単位を本学の単位として認定

### 4. 説明会（2024年度第1学期履修に関する説明会）

開催地区	松江	浜田
日時	2023年12月26日(火) 14:00～14:45	2023年12月13日(水) 11:00～11:45、14:00～14:45
開催会場	島根学習センター 第2講義室	島根県立西部社会教育センター いわみ〜る

・要予約（必ず、開催日の5日前までに島根学習センターに申し込んでください。）

島根学習センター 電話：0852-28-5500 メール：shimane-sc@ouj.ac.jp

## ● 学習相談

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、客員教員等による対面またはオンライン方式で学習相談を実施します。

- 学習相談票に相談内容を記入し、相談日の3日前までにご提出ください。
- 相談時間 お一人1時間以内

荒川 正晴 (東洋史学)	11月	10日(金)・17日(金)	13:00~16:00
	12月	1日(金)・8日(金)	
安齋 有紀 (フランス語学)	11月	17日(金)	9:30~12:30
	12月	7日(木)・21日(木)	
大谷 みどり (異文化コミュニケーション・英語学習における支援)	11月	9日(木)・30日(木)	9:30~12:30
	12月	6日(水)・14日(木)	
尾崎 浩一 (生物学・分子生理学)	11月	7日(火)・21日(火)	14:00~17:00
	12月	5日(火)・12日(火)	
高須 晃 (地質学・岩石学)	11月	7日(火)・14日(火)	13:30~16:30
	12月	19日(火)・26日(火)	
村瀬 俊樹 (心理学)	11月	7日(火)・21日(火)	9:30~12:30
	12月	5日(火)・26日(火)	
出口 顕 (文化人類学)	随時(出勤日)		

## ● ゼミ

下記のゼミを開催しています。

2023年第2学期からのゼミ生募集については別添チラシをご覧ください。

### 【担当講師】

客員教員	専門分野・テーマ
荒川 正晴 教授	東洋史学・中央アジアの社会と文化
安齋 有紀 准教授	フランス語学・新しく学ぶ外国語
大谷 みどり 教授	異文化コミュニケーション・英語学習における支援・英語学習における工夫と支援
尾崎 浩一 教授	生物学・分子生理学・生物の不思議～分子から生態まで～
高須 晃 教授	地質学・岩石学・島根の地質・岩石・鉱物
村瀬 俊樹 教授	心理学・実験・調査による体験を通して学ぶ心理学

## ●だんだんセミナー

「ユーラシアの異文化交流」		講師：荒川 正晴 客員教授
12月15日(金) 14:00~ 15:30	ユーラシア大陸は、その周辺に広がる海域世界を含めて、古来、様々な文化が交流してきました。「東西交流」とも呼ばれ、シルクロード史研究の主要な研究テーマとなってきました。本セミナーでは、歴史的にどのような文化が交流してきたのか、具体的に取り上げてゆきたいと思います。現在のユーラシアの文化が、そうした交流の産物であることを実感してもらえればと思います。	
「フランスの文化と言葉」		講師：安齋 有紀 客員准教授
12月15日(金) 10:00~ 11:00	フランスは首都パリを中心に諸芸術、ファッション、食など、様々な分野で世界から注目される国の一つです。このセミナーではこのような華やかな側面だけでなく、言論・社会運動の特徴や現在の移民社会が抱える課題なども含め、多民族・多文化が共生するこの国の独自性について、私の留学経験も交えながらお話しします。また、ヨーロッパという多民族・多文化社会でフランス語が一つの言語としてどのように形成されてきたのかなど、他のヨーロッパ言語との関わりに触れながら、フランス語の特徴についてもお話しします。	
「生物たちの生きる仕組み」		講師：尾崎 浩一 客員教授
11月14日(火) 14:00~ 15:30	いろいろな生物のいろいろな「なぜ？」について、特に生物が持つ様々な機能に関して、そのメカニズムの観点から受講者と一緒に考え、知る楽しさを分かち合いましょう。予備知識は特に必要ありません。	
「岩石と鉱物の世界—島根の地質・岩石・鉱物—」		講師：高須 晃 客員教授
12月12日(火) 14:00~ 15:30	このセミナーでは、島根地質百選（島根県内の100のジオサイト＝地質・岩石・鉱物見学サイト）に選定されている島根県内の地質、岩石、鉱物について、できるだけ実際の標本やサンプルを解説します。また、私が国内外から採取してきた、めずらしい岩石や鉱物も紹介する予定です。	
「日常生活において誰にでも見られる心の働き」		講師：村瀬 俊樹 客員教授
12月12日(火) 10:30~ 12:00	私たちが日常生活で行う様々な行動には必ず「心」がともなっています。本セミナーでは、私たちの誰もが日常生活の中でよく行っている行動に働いている「心」の仕組みを、実験・調査の結果を紹介しながらお話ししたいと思います。こんなことにも「心」が関係していて、それがこんな実験や調査で調べることができるということを皆様とともに考えてみたいと思います。	

だんだんセミナーは、5名の教員を講師に開催しています。  
お気軽にお申込みください！

問い合わせ TEL：0852（28）5500 メール：shimane-sc@ouj.ac.jp

(注1) 窓口・電話・メールでの事前予約をお願いします。

(注2) だんだんセミナーは、一般の方も参加できます。

(注3) 松江市に暴風警報や特別警報等が発令された場合は、中止します。

(注4) 白潟駐車場をご利用の方は、一律200円券をお渡しします。

## ◆Web 単位認定試験・体験会◆

参照 「学生生活の葉」 教養学部 P61～74 大学院 P63～76

### Web 単位認定試験

2023 年度第 2 学期の単位認定試験は、前回から引き続きWeb 受験方式により実施します（郵送受験方式の科目を除く）。

自宅等からインターネットを通じて、Web 単位認定試験システムにアクセスして受験します。試験期間中いつでも受験可能ですが、1 科目 50 分の制限時間があり、各科目 1 回のみ受験可能です。

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験前までに必ず体験版の操作を行ってください。

### Web 単位認定試験体験会

島根学習センターでは、操作体験会を下記の予定で実施します。事前申込をお願いします。

対象者：島根学習センターでの受験を申請された方  
島根学習センター所属の方

※学習センターでの受験申請をされた方は必ずご参加ください。

#### ・松江会場

12月7日（木）、24日（日）、1月9日（火）  
各2回 10時～11時 14時～15時

【場所】島根学習センター 第2講義室（4F）

#### ・浜田会場

12月13日（水）11時～12時、14時～15時  
【場所】いわみーる 302号室（3F）

要申込

申込期間 11/1（水）～希望日の3日前（閉所日除く）

定員 各回4名

申込方法 島根学習センター窓口または電話でお申込みください。  
TEL：0852（28）5500

※申込みの際に、学生番号を確認しますので学生証等をご用意ください。  
※当日はマスクの着用をお願いします。

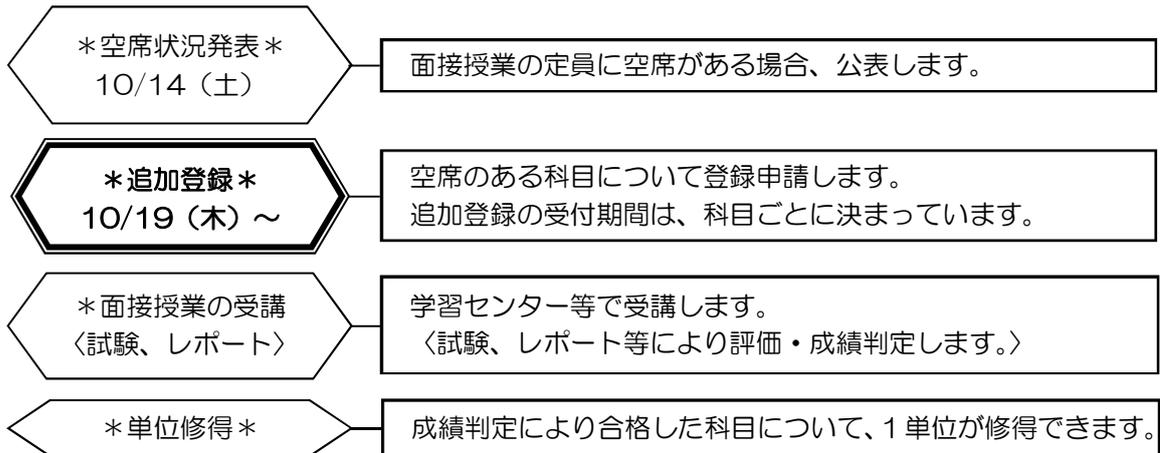
# お知らせ

## ◆面接授業の追加登録◆

教養学部生のみ『学生生活の葉（教養学部）』 35-39 ページ参照

「面接授業」の追加登録申請が10月19日から可能となります。  
追加登録とは、面接授業の定員に空席のある科目について登録申請することです。  
全科履修生だけではなく、選科履修生・科目履修生も履修できます。  
学習したい面接授業に空席があれば、ぜひこの機会に追加登録を行ってください。

### 面接授業追加登録の流れ



## 追加登録の方法

### ■申請方法

1. 窓口申請：受付初日（10月19日（木））の午前10時までに来所の方を対象に抽選で登録順を決定。それ以降は先着順。（学生証を提示すれば、代理人での登録も可能）  
窓口受付時間【火～日】9時30分～17時30分

#### 【必要なもの】

#### ①面接授業科目登録申請書、②学生証、③授業料（1科目 5,500円）

申請書は面接授業時間割表（中国・四国ブロック版）にあります。

追加登録期間中は学習センター窓口にも備え付けてあります。

（システムWAKABAより入手も可能）

2. 郵送申請：上記①の申請書、学生証の写し、授業料、返信用の封筒（84円切手貼付）を現金書留により送付してください。  
郵送をご希望の際は、事務室までお問い合わせください。  
（希望者多数の場合は、来所の方を優先します。）

### ■追加登録期間

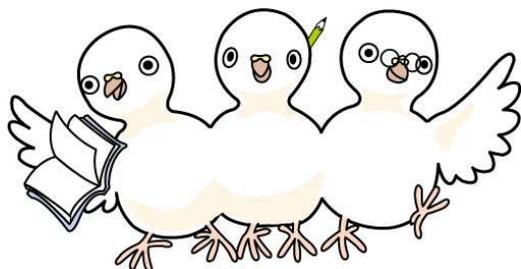
2023年10月19日（木）～科目ごとの追加登録受付期限日（原則、開講日の1週間前）

- 追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行っていません。
- 各科目の追加登録期間中の空席数・追加登録受付期限日については、システムWAKABA（全国の状況）、島根学習センター図書・視聴室掲示板（島根学習センター開設分）で確認できます。（直接お電話でのお問合せも可能です。）

## 2023年度第2学期 島根学習センター開設の面接授業一覧

授業実施日		科目区分・ナンバリング	定員	科 目 名	担当講師名
10月	14日(土) 15日(日)	専門：心理と教育 320(中級)	18	★ 心理学実験3 ※ 認定心理士資格取得対応科目	源 健宏 (島根大学人間科学部・准教授)
	21日(土) 22日(日)	専門：生活と福祉 320(中級)	40	障害の理解と支援	京 俊輔 (島根大学人間科学部・准教授)
	21日(土) 22日(日)	専門：自然と環境 320(中級)	20	斜面災害の発生と対策 ※ 実施会場：22日1・2時限は “雲南市大東町山王寺”	小暮 哲也 (島根大学総合理工学部・准教授)
	28日(土) 29日(日)	専門：心理と教育 320(中級)	30	情報化社会と大学教育	苑 復傑 (放送大学心理と教育コース・教授)
11月	11日(土) 12日(日)	基盤：外国語 120(中級)	40	小泉八雲で英語を学ぶ	松浦 雄二 (島根県立大学人間文化学部・教授)
	18日(土) 19日(日)	専門：情報 320(中級)	40	支援機器とUX	廣富 哲也 (島根大学総合理工学部・教授)
	25日(土) 26日(日)	専門：自然と環境 320(中級)	40	昆虫の科学と害虫防除	塩月 孝博 (島根大学生物資源科学部・教授)
12月	2日(土) 3日(日)	基盤：外国語 120(中級)	20	文化と学ぶ初めてのフランス語	安齋 有紀 (島根大学法文学部・准教授)
	16日(土) 17日(日)	専門：生活と福祉 320(中級)	20	食品学 ※ 実施会場：16日は“いきいきブラザ島根”	鶴永 陽子 (島根大学人間科学部・教授)
1月	6日(土) 7日(日)	専門：社会と産業 320(中級)	30	人口減少と地域再生 ※ 実施会場：“いわみーる”(島根県立西部社会教育研修センター内)	田中 輝美 (島根県立大学地域政策学部・准教授)
	6日(土) 7日(日)	専門：人間と文化 320(中級)	40	古墳時代出雲の考古学	岩本 崇 (島根大学法文学部・准教授)
	27日(土) 28日(日)	専門：人間と文化 320(中級)	40	西洋美術の楽しみ方	西田 兼 (島根大学法文学部・准教授)

★印は追加登録ができない科目です。



# ● システムWAKABA

参照 『利用の手引き』 P12

『学生生活の葉』 教養学部 P22-24・P109-111 大学院 P31-33・P103-105

放送大学では学修をサポートするため、インターネットを利用した各種システムを提供しています。

このうち学生の皆さんがよく使われるのが「システムWAKABA」です。この操作の仕方等について、島根学習センターでは毎月1回「初心者のためのインターネット利用教室」において、詳しく説明しています。また、Web受験方式の操作体験も行います。11月～12月は、下記の日程で開催しますのでお気軽にご参加ください。

放送大学 web サイト (<https://www.ouj.ac.jp>) からシステム WAKABA にログイン



PC版:画面上部ヘッドメニュー  
> 在学生(WAKABA)



スマートフォン:画面右上メニュー  
> 在学生 WAKABA



放送大学 認証システム

ログインID およびパスワードを入力してください

ログインID:

パスワード:

ログイン クリア

初期パスワードから一定期間システムにログインできません! 行っていないと、ログインが難しくなります。

【新入生の方へ】システムWAKABA初回ログインで送付される入学許可書には、到着までお持ちください。

ログインID・パスワード(入学許可書に記載)を入力します。  
※ログイン後、初期パスワードは必ず変更してください。その後も毎年変更してください。

システムWAKABAをもっと活用していただくために!

## ◆ 初心者のためのインターネット利用教室 ◆

### 1. 開催日時・場所

- ・11月29日(水) 15時～17時 センター第2講義室
- ・12月20日(水) // //

### 2. 定員

5名

### 3. 講師

島根学習センター職員

### 4. 申込方法(予約制)

島根学習センター窓口またはお電話でお申込みください。

## ●『学生生活の栞』・『利用の手引』（冊子）

『学生生活の栞』は本部より送付したA5版の冊子です。みなさんが放送大学で学ぶにあたってその方法、留意事項、諸手続き等について記してあります。勉学を順調に進めるために、最初にまず通読して全体を理解し、必要に応じて関係事項を参照してください。また、巻末に各種届（願）出の様式があります。

『利用の手引』は、島根学習センターが発行している冊子です。島根学習センターの利用方法、学習方法、諸手続きの方法等について掲載していますのでご一読ください。



## ● 通 信 指 導

参照 「学生生活の栞」 教養学部 P.62-65 大学院 P.64-67

通信指導は、放送及び印刷教材により行われる授業において、各学期の途中に1回一定の範囲で出題されます。期限までに答案を提出してなかったり、提出しても不合格の場合は、学期末の単位認定試験の受験が認められませんので注意してください。詳細については「学生生活の栞」を参照してください。

●送付時期 8月下旬～11月上旬

●提出期間

(Web 通信指導による提出の場合)

2023年11月8日(水) 10:00～11月29日(水) 17:00

(郵送による提出の場合)

2023年11月15日(水)～11月29日(水) 必着



**忘れずに!**

※提出については、一部の科目を除き郵送によるもののほか、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる「Web 通信指導」が利用可能です。「Web 通信指導」で通信指導問題の提出(送信)を行った場合には、郵送による提出は不要です(提出されても無効となります)。

## ● 情 報 募 集 (地域貢献ボランティア活動)

地域貢献ボランティア活動の情報を募集しています!!

ボランティア活動をなさっている皆さん、こういった活動をなさっていますか? 放送大学では、学生同士の交流やより活発な活動に役立ててもらおうと、ホームページに全国各地で地域貢献ボランティア活動をする学生の情報を紹介しています。

◎放送大学HPー地域貢献活動の取り組みについてー地域貢献活動をする学生の紹介  
<https://www.ouj.ac.jp/pj/member.html>

自分が行う活動を放送大学ホームページで紹介してみようと思われる方は、下記連絡先までお知らせください。折り返しご連絡の上、調査シートをお送りします。

連絡先：電 話 0852-28-5500

メール [shimane-sc@ouj.ac.jp](mailto:shimane-sc@ouj.ac.jp)

## ● 西部地域にお住まいの学生のみなさまへ（浜田・益田コーナー）

島根県西部地域に居住する学生も容易に放送教材の視聴、貸出が利用できるように浜田市と益田市に再視聴施設があります。お近くの方はご利用ください。なお、利用時間、利用内容については「利用の手引き」（18頁、19頁）をご覧ください。

### 浜田コーナー

島根県立西部社会教育研修センター内  
（いわみーる3階）



### 益田コーナー

益田市立図書館内  
（カウンターでお問い合わせください。）



★全ての科目を配架してはおりません。浜田・益田コーナーでの視聴を希望する場合は、履修している授業科目の放送教材が配架されているかを、各コーナーまでお問合せください。ない場合は配架を依頼するかパソコンで視聴してください。

★西部履修相談について（予告）・・・2月15日（木）（益田）、16日（金）（浜田）で行う予定です。詳しい日時は次号の『だんだん』でお知らせいたします。

## 島根同窓会通信 (43)

2023年10月1日現在 会員数75名

### 卒業生を迎えて卒業を祝う会を開催



恒例の「卒業を祝う会」の出席者は、卒業生4人の方が出席され、卒業に至るまでの道のりや入学の動機などについてそれぞれ語られた。

卒業要件を満たして学位記授与に至った方、卒業まで長く係られた方、更なるスキルを高めるために修士へと進学された方が、それぞれが卒業までの出来事などについての思いを話された。

卒業生からの発言では、自分のペースで取り組んだ結果卒業に至った。職場での人間関係を深めるため学んだ方、子どもたちの成長をみて学生生活を実感した方などなど、いずれも皆さん楽しく学べたことが強調されていた。

### 会員対象(希望者)に「アカデミックガウン」着用で記念撮影



伊瀬さん

長島さん

祝う会では学位記を授与された方と、同窓会役員、会員の皆さんで昼食(会費は個人負担)を取りながら、卒業までの学生生活の思い出や今後の目標などについて楽しく語り合い、卒業に至るそれぞれの思い出を共有し、卒業された方を万感の思いで祝福してきました。

会員(当日入会可)を対象に、希望者にアカデミックガウン着用にて撮影を実施しました。当日は2人となりましたが、今後も継続しますが、過去に学位記を受けられた方でも希望(事前予約)されたら撮影を実施します。撮影者は経験豊富な方に依頼しフレームに装丁して無料で贈呈します。卒業見込みの方でご希望の方は、是非事前に下記竹下までご予約ください。(記/竹下)

※竹下会長：電話/携帯/mail:0852-24-0108/080-3056-0487/mail://yasutake@kfz.biglobe.ne.jp

# スケジュール

【ゼ】ゼミ 【セ】だんだんセミナー 【相】学習相談日 ●面接授業

11月			
日	曜	行事	面接授業
1	水		
2	木		
3	金	閉所日	
4	土		
5	日		
6	月	閉所日	
7	火	【相】尾崎・高須・村瀬	
8	水	図書視聴室閉室	
9	木	【相】大谷	
10	金	【相】荒川	
11	土	公開講演会（浜田）	●小泉八雲で英語を学ぶ
12	日	公開講演会（益田） 学生研修旅行	
13	月	閉所日	
14	火	【セ】尾崎 【相】高須	
15	水		
16	木	【ゼ】安齋	
17	金	【相】荒川・安齋	
18	土		●支援機器とUX
19	日		
20	月	閉所日	
21	火	【相】尾崎・村瀬	
22	水		
23	木	閉所日	
24	金	【ゼ】荒川	
25	土		●昆虫の科学と害虫防除
26	日		
27	月	閉所日	
28	火	【ゼ】高須・村瀬	
29	水	【セ】インターネット	
30	木	【ゼ】【相】大谷	

12月			
日	曜	行事	面接授業
1	金	【相】荒川	
2	土		●文化と学ぶ初めてのフランス語
3	日		
4	月	閉所日	
5	火	【相】尾崎・村瀬	
6	水	【ゼ】【相】大谷	
7	木	Web 単位認定試験体験会 【相】安齋	
8	金	【相】荒川	
9	土		
10	日		
11	月	閉所日	
12	火	【ゼ】高須・村瀬 【相】尾崎	
13	水	図書視聴室閉室 Web 単位認定試験体験会（浜田） 単位互換制度説明会（浜田）	
14	木	【相】大谷	
15	金	【ゼ】荒川・安齋	
16	土		●食品学
17	日		
18	月	閉所日	
19	火	【ゼ】尾崎 【相】高須	
20	水	【セ】インターネット	
21	木	【相】安齋	
22	金		
23	土	入学説明会・相談会（松江）	
24	日	公開講演会（出雲） Web 単位認定試験体験会	
25	月	閉所日	
26	火	【相】高須・村瀬 単位互換制度説明会（松江）	
27	水		
28	木	閉所日	
29	金	閉所日	
30	土	閉所日	
31	日	閉所日	

開所時間 9:30~17:30



厳しい暑さも過ぎ去り、勉強、スポーツ、行楽に楽しみな秋ですね。島根学習センターには、「学友会」「古文書を読む会」「だんだんサロン・表現の会」の3つのサークルがあり、毎月の活動や社会見学、健康づくりの企画等を行っています。新しい経験や出会いを求めて、活動の場を広げてみませんか。サークルの紹介と入会申込書を同封していますので、是非ご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。（松本）